

2017年度事業 報告書 (2017年4月1日~2018年3月31日)

2018年5月23日

特定非営利活動法人サポートハウス ワン・ピース

理事長 瀧本美知留

1、事業活動方針

障害児とその家族を対象に地域社会での生活を支援する。

2、2018年度の事業活動

- ・前年度に引き続き放課後等サービスを事業の中心に据えて活動を進めた。
- ・日中一時支援事業、障害児相談支援事業も継続。
- ・子どもたちの余暇支援として、和太鼓サークル、ゲーム大会を継続する。
- ・前年度に2回開催した中高生向けワークショップも引き続き4回開催した。
- ・6月から処遇改善加算を申請して9月と3月に処遇改善手当として全職員に支給。
- ・たまめし食堂の活動に協力した。

3、事業内容

①放課後等サービス等サービス 契約者 173名

5月から営業時間は、11:30~17:30に変更

営業時間の変更に伴い、非常勤職員の勤務を13:00~18:30に変更。

常勤職員 10人 非常勤職員 18人

【ワン・ピースやまと北】(児童発達支援管理責任者：(川村)鈴木・栄倉)

定員 20人 契約児童 96名 単位1：45名 単位2：51名

送迎車5台

中高生が多くなり、単位1に中学1年生を入れて対応。

1日の利用者は昨年に続き24名。

小41人 中高56人(中31人 高25人)

【ワン・ピースやまと南】(児童発達支援管理責任者：渡部)

定員 20人 契約児童 77名

小 35名

中高 42名(中25人 高17人)

送迎車4台

中高生が多いが、1日の利用者は20~21人で運営。

②日中一時支援事業

利用者は徐々に増えている。契約者 26 名
就労支援に限定し 1 日の利用者は 6 人までとする。担当職員は利用児童に合わせて
非常勤職員 2～3 人で調整。
利用希望アンケートを早めに配布するようにしたが、直前の申し込みやキャンセル
がかなりあった。

③相談支援事業

約 130 件担当
新しい相談は受けられないようにしたが、結局ほとんど受け入れた。

④余暇支援に関する事業

ア、夏休み企画(松風園・自立支援センターと共催)
ムーブメント 2 回、ダンス 1 回、和太鼓 2 回
工作教室 1 回は神奈川土建大和支部の協力で開催。

イ、ゲーム大会

6 月 9 月 12 月に開催。毎回 10～20 人が参加。
6 年目になり、落ち着いた雰囲気を楽しむことができている。
参加者は中学生高校生が中心。
3 月はゲーム開設準備で多忙をきわめたため中止。

ウ、余暇支援のサークル活動

和太鼓リーフダンス 10 名参加 (小 1 中 5 高 4)
小学生が少なく小中生グループと高校生グループに分けて練習。
3 月 21 日に勤労福祉会館で発表会を開催して 100 名以上が来場。

エ、ムーブメント

中学生、卒業生を対象にする。隔月開催の予定だったが会場確保や
八十島ばなな先生との調整がつかず 4 回の開催になった。
参加者は、8 人前後。

④家族支援に関する事業

ア、保護者会等

保護者の方に来てもらって話を聞く会を開催。
就労についての懇談会・高校についての懇談会
ワシ・ピースの会との協力があまりできなかった。

1、ワン・ピースの今後の活動について
会費の集金をなくしたため、保護者の方々にワン・ピースの会を意識してもら
う機会がなくなりました。
ワン・ピース通信の作成を加藤さんに引き続きお願いした。

⑤勉強会等を開催する事業

職員向け研修は秋に安全運転講習を実施。

⑥その他

ア、大和市自立支援協議会児童部会の会員として関係団体との連携・情報交換

イ、ボランティアの受け入れ

放課後デイ… 5人 (卒業生2人含む)

ウ、子ども食堂への協力

会場提供・職員がボランティアとして参加

4、災害時への対応について

継続して取り組んだ。毎月第3週めの各曜日。

職員、保護者、子どもたちに震災火災時の対応を経験理解することに役立っている。

北では、団地全体の訓練にも参加した。

5、放課後等デイサービスガイドライン

事業者自己評価の実施

保護者評価の実施(HPに掲載)

評価結果の公表・ワーキング

6、エイリハット・苦情・事故報告など

エイリハット… 30件

苦情… 2件

事故報告… 7件

7、その他

職員間のパワーハラスメント…1件

新事業所オープン開設の準備を1月から始めた。

リノホーム約500万円 送迎車約200万円



